



# 橋田小だより

令和3年9月17日

第277号

Tel 0250-41-0055

Fax0250-41-0056

五泉市立橋田小学校

## 子どもたちに願うこと

校長 齊藤 カオル

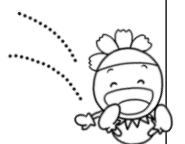
32日間の夏休みを終え、学校に子どもたちの元気な姿や声が戻ってきました。教室の廊下には、夏休み中に子どもたちが頑張って取り組んだ自由研究や自由工作等の作品がたくさん展示されました。そして、どの学年の子どもたちも発表会において、自分の作品や頑張りの様子等について生き生きと話をすることができました。どの子どもたちの作品や発表からも、頑張って取り組んだ様子や気持ち、楽しかった夏休みの思い出が伝わってきました。これもたくさんの支援をいただいた保護者の皆様やご家族の皆様のお陰です。ありがとうございました。子どもたちにとって一生忘れられない思い出の一つになっていると感じます。

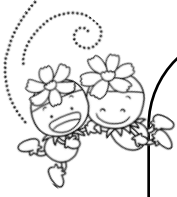
1学期後半の始まりの全校朝会で、子どもたちに次のように話をしました。

「夏休み中に見たオリンピックにおいて、心に残る選手はいますか。」

私は、女子柔道の阿部 詩選手です。詩選手は、金メダルが決まった瞬間、両手の拳を床に思いきり叩きつけて喜んでいました。このシーンを見て、詩選手の喜びの陰には、人知れず苦しい練習を重ねてきた背景があることが想像のみなさんにも、「なりたい自分」を目指してチャレンジを続けることで、「やったー」喜びの経験をしてほしいのです。…(途中略)さあ！1学期後半が始まりました。みなさんの「なりたい自分」の姿を覚えていますか。何を頑張りますか。学習面、生活面で自分のなりたい姿をしっかりとって頑張してほしいと思います。そして、次のことも頑張してほしいのです。それは、「コロナにかからない。」

「そのために自分で考えて行動する。」ことです。コロナから自分の命を守るためには、自分で行動を考え、実行する力が欠かせません。たくさん頑張ることがあって大変だと思います。苦しい時や困った時にはいつでも先生方に相談してください。私たち先生方は、みなさんを全力で支えていきます。一緒に頑張っていきましょう。





今年も五泉北中学校区小中連携事業の「地域の方に花を贈る活動」が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、小学校からは花と子どもたちのメッセージカードを、中学校からはマスクケースを民生児童委員の方々と学校職員とで玄関先にお届けする形となりました。偶然、玄関先でお会いでき、直接お礼を伝えてくださった地域の方々や、お礼の電話やお葉書をくださった地域の方々がいっぱいいました。この取組にご協力していただいている地域の皆様に感謝を申し上げます。